

各種検討会の経過報告について

問 合併後、いろいろな検討会を立ち上げてきました。まず「公共施設あり方検討会」について、昨年4回の検討会が実施され、継続的に検討する必要のある施設もあつたと思います。その後の経過報告と今後の予定は。また、「御前崎市行政改革推進委員会」の経過報告を

答 公共施設あり方検討会につきましては、旧御前崎町の役場庁舎の空きスペースを有効利用すること、他の公共施設が活用されているのか、調査検討するために昨年7月に検討会を立ち上げました。早急の問題として支所の有効活用を検討し、教育会館としての利用を決定し、他の公共施設につきましては、各施設を管理する課から現状調査

耐震補強

助成金について

問 木造住宅耐震補強助成金事業の実施率が低いとのこと、補強工事費が家計を圧迫する大きな出費であることも要因と思います。予想される東海地震に備え、少しでも多くの生命、家屋を守るために、耐震補強工事は重要な対策と考えます。この事業の効果的実施を図る上で、県補助金に上乗せ補助を導入する考えは

答 この耐震補強助成事業につきましては、実施率が低く県平均を下回っております。平成17年度から高齢者等に対する割り増し補助を実施し、一般世帯は30万円・高齢者や障害者の世帯は50万円の補助金を交付しております。各地で大災害が発生し、国も耐震補強施策を積極的に推

進する方針で、県から各市町に対して上乗せ補強等の協力要請がありました。また、浜岡・御前崎の両商工会からも、市民生活の安全確保のため、市独自の補助制度の導入について要望をいただきました。

今まで諸事情により、上乗せ補助金は見合わせてきましたが、一人でも多くの尊い人命と家屋倒壊の減少を図るため、次年度から県の制度と連携した上乗せ補助を実施してまいります。

上乗せする金額については、新年度の予算編成の中で検討します。

